

かわらばん



西東京市立柳沢中学校

第1学年便り

令和6年2月16日

No.43

「言葉」の意味について考えよう



今月はふれあい月間なので、2学期に引き続き「人間関係」、特に「言葉」の意味について考えてみたいと思います。皆さんが何気なく発する言葉は、時に人のことを励まし、勇気づけることがあります。反対に人のことを傷つける凶器になってしまうこともあります。皆さんは普段、クラスメイトや友達と接するとき、言葉の意味を理解しながら話すことはできていますか？ 自分にとっては気にならない（悪気がない）一言でも、相手にとっては傷つく言葉になってしまうこともあるかもしれません。例えば、味覚を例に考えてみると、辛い食べ物を食べる時、自分にとっては「辛くない！」と感じても、他人にとっては「辛いな！」と感じることはごく普通にあることです。つまり、人の発する言葉で相手がどう受け取るか、感じ取るかは、人それぞれ違うのです。では、具体的に人を傷つける言葉にはどんなものがあるのか、調べてみると、以下のような言葉が並んでいました。

【人を傷つける言葉】

「死ぬ」「きもい」「うざい」「消えろ」「くさい」「ちび（容姿に関すること）」「障がい」「おかしいんだけど」「変じゃね」「バカじゃん」など

このように文字にしてみると、嫌な気持ちになる、不愉快になる言葉がたくさん並んでいると思います。しかし、実際に人との会話の中で、無意識に上記のような言葉を使ってしまいませんか？ さらに人が傷つくことを平気で言う人の心理を調べてみると、次のようなことがあげられていました。

【人が傷つくことを平気で言う人の心理】

- 空気が読めない
- 思いやりがない
- 自分の方が上と考えている
- 自己中心的
- 自分を守るために人を傷つける（防衛反応）
- 何も考えていない など

人は一人で生きているわけではありません。人は、人とのつながりの中で生きています。2学期の『かわらばん』で、「人間関係を築く鏡の法則」を紹介しましたが、人に優しく接することで、自分も人から優しくされ、反対に人を傷つけてしまうと、自分も傷つくことになります。1年生も残り1か月と少しです。改めて、何気なく発する言葉について考えてみて、2年生になっても、良好な人間関係を築けるように励んでももらいたいと思います。

最後に、法務省が主催する「社会を明るくする運動作文コンテスト」で過去に受賞した作品を紹介します。この作文を書いたのは皆さんと同じ中学1年生です。ぜひ、「言葉」の持つ意味について、考えるきっかけにしてもらいたいと思います。

「言葉の力を信じて」

最近、いじめに関する報道が連日のように取り上げられています。残念なことに私と同じ中学生がいじめが原因で自らの命を絶っている事件も珍しいことではありません。そして、その中で必ず「キモい・ウザい」などの言葉が発せられており、このような悪意に満ちた言葉でなかったら、その命は助かっていたかもしれないと思うと、私は自分自身の体験と重ね合わせくやしくてたまりません。

私は小学生のころ、特定の女子からひどい言葉を言われていた時期がありました。突然、私が驚くような言いがかりをつけてきたり、悪口を広められました。通りすがりに「死ぬ」と言われたと

きには、自分の耳を疑ったほどです。彼女が発したその言葉はあまりにも衝撃的でした。私にとっての「死」は、大切な祖父母が病気になり治療のいかなく亡くなり家族でその悲しみを乗り越えてきた、その経験そのものであり、それが私の感じるところの「死」だったのです。彼女の言葉の意味することが、ゲームの中の簡単にリセットできる「死」であったのかどうかは分かりません。その後、彼女は私だけでなく他の友人にも同じような言動をして、結果、彼女自身が孤立することになりました。

言葉には、「言霊」というエネルギーが宿っていて、軽視できない力を持っているということを以前本で読んだことがあります。言霊がポジティブにもネガティブにも、その言葉が発した本人やその周辺に返ってくるというのです。人を傷つけ、人の心を暗くするような言葉もあれば、元気を失った心を救ってくれる言葉もあります。私が悩んでいたそのころ、私の心の支えになり助けてくれたのも、友人の言葉でした。

「みんな分かっているから。大丈夫。」私は言葉によって傷つき何ともいえないむなしい響きを感じ、また、言葉によって勇気をもらいました。言葉がとれほど人に影響を与えるものか、言葉の力を実感し考えさせられました。

私たちは言葉を使うことによって、相手とコミュニケーションをとっています。言葉が人に与える力は大きいからといって萎縮して、「何も話ができない」では何にもなりません。自分の発言が誤りであり、相手を傷つけたのであれば言葉の力を借りて正直に謝罪すればいいのです。

言葉は自分を主張し、相手を動かすことができます。自ら発した言葉で人の心を和ませ周囲を明るくすることもできます。人はその輪を広げ、みんなの意識を変え、いじめや犯罪のない明るい社会へ変えていくことができると私は信じています。今、私ができる最大のことは、私自身がポジティブで生き生きとした力強いメッセージの発信源になることだと思いました。



法務省“社会を明るくする運動”中央推進委員会主催
第63回“社会を明るくする運動”作文コンテスト日本BBS連盟会長賞
<https://www.moj.go.jp/content/000117840.pdf>

■来週の予定 (2/19 (月) ~ 2/23 (金))

月 日	組	1	2	3	4	5	6	備 考
2/19 (月)	A	総合	英語	技術	社会	国語1	数学	生徒会朝礼
	B		技術	数学	国語2	英語	社会	
	C		国語2	数学	技術	英語	美術	
2/20 (火)	A	社会	国語2	家庭	数学	国語2	体育	※試験1週間前
	B	美術	家庭	数学	国語2	体育	国語1	
	C	国語1	理科1	数学	家庭	体育	社会	
2/21 (水)	A	体育	英語	数学	美術	道徳	職員会議 都立一般入試	
	B	英語	理科2	体育	数学			
	C	英語	体育	社会	数学			
2/22 (木)	A	社会	音楽	数学	国語1	体育	英語	
	B	数学	社会	音楽	理科1	英語	体育	
	C	数学	美術	理科1	音楽	英語	理科2	
2/23 (金)		天 皇 誕 生 日						

※予定の変更等は、朝・終学活等で連絡します。